



フジサンケイグループ

女性のための生活情報紙

リビンク 東京西

2006年3月18日 1544号

無料 土曜日発行 次回発行は 3月25日 です

リビンク新聞は
●独自の楽しい掲載基準を設けています
●読者の個人情報取り扱いについては中面をご覧ください
●木曜日または金曜日にリビンクレディがお届けしています

発行/サンケイリビング新聞社

話題人登場

環境にやさしい鉄道貨物輸送 「エコレールマーク」を選ぼう

国土交通省鉄道局 貨物鉄道調整官

村田茂樹さん



●プロフィール 1990年、運輸省(現国土交通省)入省。鉄道局をはじめ、在インドネシア日本大使館や熊本県庁勤務など幅広い行政を経験。2005年4月から現職。「スポーツで汗をかいた後、温泉で汗を流し、おいしいものを食べる週末が理想」とか

「商品を選ぶ時、原材料や生産地などは気にして、極端に取り組んでいる商品・企業であることを表示するのが「エコレールマーク」。

国土交通省鉄道局貨物鉄道調整官の村田茂樹さん。環境にやさしい鉄道貨物輸送を

用して、地球環境問題に積極的に取り組んでいる商品・企業であることを表示するのが「エコレールマーク」。

運輸部門が二酸化炭素(CO₂)排出量に占める割合は少なくない。「より環境負荷の少ない物流が広まると、トラックの場合よりも二酸化炭素(CO₂)排出量が8分の1に削減されるとか(国土交通省調べ)。環境にやさしい鉄道貨物輸送を

「エコレールマーク」が作られた。マークの表示が認められるのは、陸上輸送に鉄道を①30%以上用いる商品②15%以上用いる企業。

現在、商品5件と企業21件が認定されており、商品や段ボールなどに表示されるほか、企業のホームページやパンフレットなどに掲載されている。

「マークが登場してからまだ1年たったいないため、一般消費者への認知度はまだまだですが、企業や自治体からの関心は高まってきていると感じています」と村田さん。

「今ではおなじみのエコマークも最初は表示商品が少なく、だんだんと広がりを見せていったと聞いています。少しずつ認定商品を増やして、普及させていきたい。みなさんが買い物をする際、商品選びの目安の一つとして、このマークをチェックしてもらえたらうれしいですね」

(川戸眞澄)



エコレールマーク